

ちょうろく
③ 長禄江戸図

ぶんせい
文政元年 (1818) 7月写
原本：縦 39.1cm×横 57.2 cm

どうかん
太田道灌が江戸城を築いた長禄年間(1457～60)の江戸を描いたとされる絵図です。絵図左下には道灌の句が書かれています。実際には、近世後期の人が、考証によって中世の江戸を復元したものといわれています。各地に写しが伝わっており、江戸時代の道灌人気や江戸の懐古趣味がうかがえます。

安中市安中 石井忠樹家文書 P01102・No.21

